



# Weekly Report

2006~2007年度  
国際ロータリーのテーマ  
率先しよう  
2006~2007年度  
ウイリアム・ビル・ボイド

創立:1980年(昭和55年)1月10日  
会長:遠山 堯郎  
幹事:天野 正明  
会報委員長:稲垣 豊  
例会日:毎週木曜日 PM12:30~  
会場:ヒルトン名古屋  
事務局:460-0008  
名古屋市中区栄1丁目33  
ヒルトン名古屋910号  
TEL:052-211-3803  
FAX:052-211-2623  
MAIL:2760nagoya@mizuho.rc.jp  
URL:http://www.mizuho.rc.jp/

## 第1293回例会

### 職業奉仕・米山月間

2006年10月19日(木) 晴 第15回 ガバナー公式訪問  
名古屋名南RC・名古屋瑞穂RC合同例会

司会:(高木 勝会場委員長)  
斉唱:「それでこそロータリー」  
ゲスト:RI第2760地区ガバナー 齋藤 直美君  
RI第2760地区地区幹事 藤井 伸三君  
元米山奨学生 金 玖植君

#### 名南RC会長挨拶

名南RC 小山慎介会長

皆様こんにちは、名古屋名南RC今年度会長の小山慎介でございます。日頃名古屋瑞穂RCの皆様には大変お世話になっております。本日はガバナー公式訪問ということで、2RC合同例会です。瑞穂RCとは初めての合同例会になりますが、大変素晴らしい会場の設営で、高木会場委員長には感謝申し上げます。これからも名南RC、瑞穂RC共にこうした例会がありますように心から願っております。



また、先ほど10時30分から齋藤ガバナー、藤井地区幹事をお迎えし、クラブ計画書に基づきまして大変きめ細かいご指導を承りましたことをご報告申し上げます。どうもありがとうございました。

#### 会長挨拶

遠山堯郎会長

本日は、私ども瑞穂RCがホストということで、名南RCと合同でガバナーをお迎えしての例会を開催させていただきます。昨年までは、4RC合同で開催されていましたが、今年は齋藤ガバナーのテーマ「原点回帰」ということで、2クラブ合同になったと思います。また、本日の例会に先立ちまして、齋藤ガバナーにRCの現状、問題点などのご指導を頂きました。後ほど卓話の中で、ご所見をお伺いできることを楽しみにしています。また、10月は職業奉仕月間・米山月間です。10月のガバナー月信には、職業奉仕について参考なることを述べられていますので、ご確認を頂きますようお願いいたします。



今日の挨拶は、ある本から、日本の商社マンについて学んだことです。ロンドン駐在の商社マンが、お得意さんの夕食に招かれて、いきなり聞かれたそうです。「縄文式土器と弥生式土器はどう違うのですか?」商社マンが啞然としていると、また質問をされ、「元寇というのは二度あったが、最初と最後では何がどう違ったのですか?(元寇・元のフビライの入港拒否・台風で元艦沈没・蒙古襲来。文永・弘安の役)」と聞かれたそうです。イギリス人には人を試す所があって、質問に答えられないと、もう次から呼んでくれないことが多いそうです。また「この人は文化が分からないつまらない人だ」となると商談も進まなくなるそうです。最近、日本では小学校5年から英語を教えると聞きます。中身の無い英語ではなく、まずは、活字文化と読書文化の復活、そして国語、数学、歴史をしっかりと教育してからでも遅くないと思います。今後は、僭越ですが、まずは親の教育、そして義務教育、高校教育を含め、そしてRCが関与します新世代委員会の活動が、過去にもまして重要な時代になってきたように思います。

#### 幹事報告

天野正明幹事

- ・10月23日(月)から25日(水)まで打合せのため、台北延平RCを訪問します。遠山会長他、天野幹事、岩本会長工レクト、西本副幹事、高須延平班長、岩田修司国際奉仕委員長、加納君、宗宮君の計8名です。
- ・次週10月26日(木)は職場例会です。12時より特別養護老人ホーム「丹陽」にて行います。

#### 出席報告

八木沢幹夫出席委員長

会員73名 出席54名 (出席計算人数54名)

出席率77.78% 10月12日は補填により 83.33%

#### 臨時例会変更のお知らせ

名古屋西				11/23(木)※
名古屋南				11/22(水)
名古屋東	10/30(月)※	11/6(月)※		
名古屋守山				11/22(水)
名古屋東南		11/8(水)※		11/22(水)
名古屋和合			11/15(水)	11/22(水)※
名古屋大須		11/9(木)	11/16(木)	11/23(木)※
名古屋栄				11/20(月)◆
名古屋名南			11/14(火)◇	
名古屋名駅				11/22(水)※
名古屋西南				11/23(木)※
名古屋錦	10/31(火)			
名古屋東山			11/16(木)	11/23(木)※
名古屋空港			11/13(月)	
あま				11/20(月)
名古屋清須		11/7(火)		
尾張中央			11/15(水)※	
豊山一城北	10/31(火)※			

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。  
◆はサイン受付時間が17:00~18:00となります。  
◇はサイン受付時間が17:30~18:30となります。

#### 元米山奨学生 金 玖植君挨拶

皆様こんにちは。私は去年まで瑞穂RCの米山奨学生としてお世話になっておりました。去年、無事博士号を取得して韓国に帰り、現在は出身大学で非常勤講師をしております。この度、名大の先生と合同で研究することになり、10日間ほど名古屋に滞在します。将来もっとよい研究をするために頑張っております。韓国に来る機会がありましたら私をご案内します。本日はありがとうございました。

#### ニコボックス

八木沢幹夫ニコボックス委員長

- ・貴クラブ訪問を祝して

RI第2760地区ガバナー 齋藤 直美君

- ・ガバナーをお迎えして。10月29日は結婚記念日です。

近藤 雄亮君

- ・田中先生、還暦おめでとう。“無事これ名馬”といいますが、例の記録、いつまで続ける気ですか？ **岡村 達人君**
- ・斎藤直美ガバナー殿、今日は公式訪問ありがとうございます。ご指導宜しくお願いします。 **遠山 堯郎君**
- ・ガバナーをお迎えして、4RC合同ゴルフ会、瑞穂RC頑張ってください。堀さん、会費納入は早めをお願いします。前週“松茸を食する会”内田委員長ありがとうございました。 **稲葉 徹君**
- ・斎藤ガバナー殿、ご多忙の年度ですが、恒例の年末(12/31)・年始(1/2)ゴルフ会にはぜひご出席下さい。 **高村 博三君**
- ・斎藤ガバナーの訪問を歓迎して。

- |        |        |        |
|--------|--------|--------|
| 天野 正明君 | 八木沢幹夫君 | 倉澤 寛君  |
| 大島 浩嗣君 | 高木 勝君  | 内田 久利君 |
| 布目 徳君  | 渡辺喜代彦君 | 森 恒夫君  |
| 鈴木 圓三君 | 増田 盛英君 | 松岡 道弘君 |
| 岩本 成郎君 | 守谷 巖樹君 | 田口 豊君  |
| 入山 治樹君 | 高須 洋志君 | 長瀬憲八郎君 |
| 平野哲始郎君 | 堀 慎治君  | 田中 政雄君 |
| 岡本 忠史君 | 西 初彦君  | 稲垣 豊君  |
|        |        | 加納 裕君  |

そうしますと遠山会長は、「10番目なんてありましたか?」とおっしゃいました。そして私は強調事項の最後に書かれている「本音の付き合い」が一番良いですねということをおっしゃいました。小山会長も非常に頑張っておられまして、やはり長期ビジョン委員会を設置されております。それから米山奨学会に多大なるご協力を頂いており、うれしい限りでございます。

私の役割はRI会長テーマを皆様にお伝えすることです。ご存じのように「LEAD THE WAY～率先しよう～」が今年のテーマです。テーマが発表された後、私たち日本のガバナーエレクトは、発表されたテーマについて討論をします。その中で皆さんが異口同音に申しましたのは、今年のテーマは簡単で良かったということでした。そうしますと研修リーダーは本当にそうでしょうかと問いかけてきました。そしてまたそこから各々考え、討論が始まります。RI会長のテーマは、前年度の会長テーマを意識して発表されていると考えた方がいいといわれました。そうしますと昨年度の高橋ガバナーの時のテーマは「SERVICE ABOBE SELF～超我の奉仕～」でありました。従いまして今年のテーマが昨年のテーマを意識して考えたものとするとして、1911年の第一標語が発生したその当時へ思いを馳せなさいということではないかとの考えに至りました。RIの事業そのものが長期化している中で、人材育成を長期ビジョンで行い、クラブを超えたリーダーを作りなさいという考えになっております。しかしながら毎年変わるからそれぞれがリーダーとして育てて来るという日本のロータリー運動の観点から見ますと、長期計画でロータリアンのリーダーを作れという発想はない訳であります。しかしながらそういうリーダーを作らないとRIの事業は継続しないような泥沼に入ってきている、という風に思われるのであります。その証拠は、4つの強調事項に現れていると思っております。1番目は水保全。2番目は健康と飢餓。3番目は識字率の向上。4番目はロータリー家族です。我々日本人にとってこの4つのテーマをどのように捉えていくのか、各クラブや地区、個人がどうやって取り組んでいくのかというのは大変なことです。しかしながらその4つの強調事項に取り組む前に、我々はすべき事があるような気がします。クラブ訪問をしておりますと、うちのクラブは社会奉仕をやっていない、国際奉仕が弱いので後ろめたいというようなことを会長さんからお聞きします。そうかと思うと、1年のうちに20～30名もメンバーが減ったクラブもあります。社会奉仕に関して意見の食い違いが起きたからです。ですからそのクラブ、人間に覚悟がないとクラブが弱体化することになります。それを見ておりますから、国際奉仕や社会奉仕が弱いと会長・幹事さんが申しまして、まずはクラブを強くする事から始めて下さい、と申し上げております。

長崎北RCの初代会長で、日蓮宗のお坊さんがいます。その方がおっしゃるには、「ロータリーというのは、例会に一生懸命出席をしていると、ある日仲間と話しているうちにご縁があって、ある思いに突き上げられ、自分の地区はどうなっているのかと外に目が向くようになってきます。そうしたら初めて社会奉仕を行えばいいのです。クラブがやらないなら自分がやればいい。その次はたぶんあなたは世界に目が向くでしょう」と。そういうご縁が発生しない限りは社会奉仕・国際奉仕を行っても失敗するとおっしゃいました。パストガバナーに森先生という方がおられます。その方も同じ事をおっしゃっています。ロータリーは人生の余白である。余白に何を描くかはあなた次第です、というメッセージを残されました。やはり社会奉仕・国際奉仕ということに目を向ける前に、クラブ奉仕の原点である例会に力を注がない限りは絶対にうまくいかない、という風に最近考えるようになりました。職業奉仕ということがよくロータリーでいわれます。しかしながらその職業奉仕というのが果たしてロータリーの原点なんだろうかという思いがあります。また別の機会あるいはガバナー月信に、ロータリーの原点は職業奉仕なのかを書く予定でおります。最後までお聞き頂きましてありがとうございます。

## 会長・幹事会

例会前10時30分より、斎藤ガバナーおよび藤井地区幹事をお招きして、会長・幹事会が開催され、大変有意義なご指導を賜りました。(当クラブ出席者・遠山会長、天野幹事)



## 卓話 2006～07年度 第2760地区ガバナー 斎藤直美君

### 「ガバナー講話」

ただいまご紹介にあずかりました、豊田RCの斎藤直美でございます。本年度はガバナーという大任を仰せ付かっております。宜しくお願いいたします。先ほど小山会長もおっしゃっていましたが、瑞穂RCと名南RCが合同でのガバナー訪問は初めてということをお聞きしました。今まで同じクラブでの開催が続いてきましたが、たまには別のクラブというのはどうだろうかという思いがあったものですから、そういった組み合わせになりました。結果的には皆様から喜ばれております。本日の公式訪問は34回目となります。44回予定を組んでおりますので、残り10回訪問することになっております。皆さんからお疲れでしょうとか、お体を大切になどのお言葉を頂きます。しかしながら、豊田は愛知県のヘソにあたりまして、だいたい60～70分ですべての地区を網羅できるといってほしい立地にあります。



名南・瑞穂両クラブは、地区へ大勢の方に出向して頂いております。名南RCからは7名、瑞穂RCからは4名で、かなり重要なポジションについて頂いて、感謝申し上げます。私はあまり疲れないのですが、とてもストレスを感じます。それは前の日にクラブ計画書を読むことです。昨日も名南・瑞穂両クラブの計画書を隅から隅まで拝見いたしました。そして本日ここにいる両クラブの会員の方に申し上げます。こんなに張り切った会長・幹事の下で1年クラブを運営していく会員の皆様にご同情申し上げます。手が抜けられないような素晴らしいクラブ計画書になっております。クラブ計画書を読んだときの第一印象ですが、楽しんでいるという感じが致しました。なぜかと申しますと、クラブ計画書に委員長と会長の思いが全部詰め込まれているからです。瑞穂RCには新しい発見をさせて頂きました。青少年育成のための瑞穂基金を創設するという事業計画と、長期ビジョンという委員会を設置していることとあります。なによりもうれしかったのは、遠山会長が9つも強調事項をあげられております。先ほどの会長・幹事会で私は遠山さんに申し上げました。「9つも強調事項をあげておられますが、その中でも一番気に入ったのは10番目ですよ。」

## 今週行事

10月26日(木)

職場例会：12:00より  
於：社会福祉法人春岡会  
特別養護老人ホーム「丹陽」

## 次週卓話

11月2日(木)

卓話講師：名古屋市総合リハビリテーション事業団  
職能開発課長 松田妙子様  
テーマ：「障害者雇用を進めるために」